

研究課題名	冬季の小児におけるコロナウイルスをはじめとした呼吸器ウイルス感染状況に関する疫学研究
研究の意義・目的	小さいお子さまは冬季の呼吸器感染症に罹るリスクが高いといわれていますが、原因となる病原体の割合など、実態については未だ不明点が多い状況です。本研究では、2019/20 インフルエンザシーズンに実施した調査でご提供いただいた試料・情報を用いて、冬季のウイルス性呼吸器感染状況を明らかにします。なお、2019/20 インフルエンザシーズンは新型コロナウイルス感染症が新たに発生したシーズンでもあるため、新型コロナウイルスが小さいお子さまで潜在的に流行していた可能性についても調査します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2026年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	厚生労働省研究班が2019/20 インフルエンザシーズンに実施した「小児のインフルエンザ予防に関する疫学調査」(以下「先行調査」と言います)に参加したお子さまが対象になります。お子さまの参加当時の年齢は3歳未満で、下記のいずれかの小児科診療所で保護者から文書による参加同意をいただいた後、鼻汁吸引液とアンケート回答内容をご提供いただいています。 【大阪府】ふじおか小児科、松下こどもクリニック、くぼたこどもクリニック、八木小児科 【福岡県】高崎小児科医院、しんどう小児科医院、きよまつ小児科医院
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行調査にお子さまが参加された際、ご提供いただいた試料(鼻汁吸引液)と情報(アンケート回答内容)を、本研究で使用させていただきます。また、当時の診療録に記載されている情報を、本研究で使用させていただきます。 ● 先行調査にご参加いただいたお子さまや保護者の方に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。今回の調査は、下記の要領で行われます。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 先行調査でご提供いただいた試料(鼻汁吸引液)を用いて、コロナウイルス(新型と、従来流行している型)の他、小さいお子さまでよく検出されると言われている各種呼吸器ウイルスを測定します【注】。 ✓ 先行調査でご提供いただいた情報(アンケート回答内容)と、当時の診療録に記載されている情報(症状、診察所見、検査結果、治療内容、その後の経過)を含めて、データを分析します。 <p>【注】測定結果は、全体として統計学的に集計するのみであり、個々に返却することはいたしませんのでご了承ください。</p>
試料・情報の他機関への提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行調査でご提供いただいた試料は、大阪健康安全基盤研究所で保管されています。今回の研究では大阪市立大学でウイルスの有無を測定するため、試料を大阪市立大学に輸送します。測定後の試料は大阪健康安全基盤研究所に再輸送し保管します。 ● 本研究に参加する小児科診療所は、当時の診療録に記載されている情報を大阪市立大学に提供します。 ● 大阪市立大学では、すべての情報をとりまとめてデータを分析します。

この研究を行っている共同研究機関	<p>大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学（教授：福島若葉）</p> <p>ふじおか小児科（院長：藤岡雅司）</p> <p>松下こどもクリニック（院長：松下享）</p> <p>くぼたこどもクリニック（院長：久保田恵巳）</p> <p>八木小児科（副院長：八木由奈）</p> <p>高崎小児科医院（院長：高崎好生）</p> <p>しんどう小児科医院（院長：進藤静生）</p> <p>きよまつ小児科医院（院長：清松由美）</p> <p>大阪健康安全基盤研究所（微生物部ウイルス課 主任研究員：森川佐依子）</p>
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 教授 福島若葉
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	<p>本研究の対象者の方は、主治医または問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。</p> <p>参加拒否のご希望や、研究に関するご質問がございましたら、主治医または下記までお問い合わせください。</p>
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学 担当：福島若葉</p> <p>電話：06-6645-3756</p>